

ウーマン アイ

広がるジャズ



五月、東京・渋谷にオープンしたセルリアンタワー東急ホテル。学生中心というイメージがすっかり定着したこの街で、大人に足を向けさせる工夫をして話題だ。そのひとつといえそうなのが、二階にあるジャズクラブ「JZ Brat（ジェージーブラット）」。

ジャズというと、三四十代の音楽ファン、特に男性を狙っていると思われがち。当初はそういう来店者を想定していたようだが、実際には若い女性同士や家族連れも多いという。

数々の話題の飲食店を仕掛けてきた経営者、ザンクインターナショナル

ースを選ぶ。どうも音楽を聴くことだけが目的ではなさそうだ。

ニューヨークの老舗が手掛けるジャズクラブ「ブルーノート東京」（東京・青山）は数年前に移転、拡張した。こちらも演奏だけでなく食事やワインに力を入れており、レストランの機能を十分備えている。一方、人気のバーのなかでパークハイアット東京（新宿）の「ニューヨークバー」や代官山の「タブローズラウンジ」が、ジャズのライブも聴かせている。

「大人の遊び」を演出する店とジャズの組み合わせ。ストレスの多い日々を送る女性たちには、ロックやクラブ系のリズムよりジャズが心地よく響くのだろうか。とはいえ、さほど敷居が高くないというのが成功の条件のようだ。

グループの岡田大武社長によれば「日本人歌手がスタンダードナンバーを中心に歌う、だれにでも楽しめる店」。来店者の九五％はチャーシ、料理、飲み物付きで七千円のコ

「食チャンネル」プロデューサー 矢幡 聡子